

19 教育実習生

現在、関東学院大学より教育実習生を受け入れています。主に第5学年を中心に、教員になるための勉強をしています。コロナの時期に…という意見もありましたが、次の世代を担う子どもたちを育てるのが教育の仕事です。そして次世代の教員を育てることも私たちの大事な使命です。

教育実習生を受け入れるときに必ず校内で実施されるのが示範（しはん）授業です。各教科等の授業を現役の先輩教師が参考に見せるというものです。示範授業を担当する教員は、それぞれ自分の学級の授業を見せることとなります。将来は自分たちの同僚となる可能性のある実習生に見せるわけですから、手抜きはできません。（もちろん日頃からてぬきはしませんが）実習生も緊張をしますが、実は見せる側の先輩教師も緊張とまではいきませんが、恥ずかしい授業は見せられませんので、本時(授業)のめあての設定、板書や発問の計画等、事前の準備をしっかりとしていきます。また、終わった後の振り返りも、もちろん行っていきます。

こうした取り組みが先生方の授業力の向上にもつながってきます。授業力の向上は、子どもたちの学びの意欲にもつながっていきます。